



2026年
7月
vol. 97

令和8年(2026年)
7月20日発行

発行所 ●日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ●4月、7月、10月、1月



都道府県薬剤師連盟会長会が開催される

令和8年5月28日(木)、令和8年度第1回都道府県薬剤師連盟会長会が日本薬剤師会会議室及びウェブにて開催された。千葉恵子常任総務の司会で開会し、冒頭挨拶において、岩月会長は、「新体制のもと、現在ロビー活動に力を入れている。薬剤師議員4人体制となり、これまで以上に薬剤師問題に取り組み体制ができてきているが、参議院組織代表議員2人体制の堅持に努めたい」と述べられた。続いて、来賓として藤田洋司衆議院議員よりご挨拶を頂き、公務のため

欠席の本田顕子参議院議員のメッセージが代読され、とかしきなおみ衆議院議員は会議途中に駆けつけられご挨拶を頂いた。

会議は岩月会長を座長に進行され、岩月会長より令和8～9年度の役員、顧問・相談役が報告され、川田幹事長、丹羽副会長より各種会務報告が行われ、都道府県薬剤師連盟新会長が紹介された。

質疑応答の後、神谷まさゆき中央後援会会務報告として、川田幹事長より、新たに秘書になった方を含めた3名の神

谷政幸参議院議員秘書の紹介があり、その後、後援会の役員と会務分掌が報告された。

協議では、今後の各都道府県神谷まさゆき後援会活動の参考として、昨年の本田選挙で票を伸ばした4県の事例が報告された。埼玉県は山内常任総務より、県薬剤師連盟会長が全支部を訪問して支援を依頼し、非会員の掘起しや地元議員への働きかけを積極的に行ったこと、宮崎県は福森常任総務より、9支部の支部長に目標を立ててもらい、数字を可視化し

て、毎月の総務会で目標達成度について報告してもらったこと、北海道は角田常任総務より、グループスプレッドシートを作成し、行動目標の達成を見える化、共有してモチベーションを高めたことが報告され、東京は吉岡常任総務より、東京各駅の駅近くの薬局を徒歩でまわる通称「ぶらり」を会長と役員で行い、現在は神谷議員も一緒に訪問していることが報告された。その後、今後の取り組みについて活発な意見交換が行われ、最後に加茂副会長の挨拶で閉会となった。

自由民主党薬剤師問題議員懇談会 世話人会・総会開催

令和8年6月1日(月)、日本薬剤師会の課題と要望を理解していただくため、参議院議員会館において、自由民主党薬剤師問題議員懇談会の世話人会と総会が開催された。

午後1時15分より開催され、新たに都道府県薬剤師連盟から推薦を受けた47名の国会議員の入会が承認されたほか、世話人会の人事変更として、世話人にとかしきなおみ衆議院議員、事務局長代理に神谷政幸参議院議員、事務局次長に藤田洋司衆議院議員が就任することが承認された。続いて、「日本薬剤師会の課題と要望」について、協議と意見交換が行われた。

総会
午後2時より事務局長である本田顕子

参議院議員の進行により、本人100名、代理103名が出席して開催された。鈴木俊一会長による開会挨拶の後、新規入会者が文書にて紹介され、これにより懇談会会員数は計254名となったことが伝えられた。次に、会計報告が行われた後、岩月日本薬剤師連盟会長の挨拶に続いて、日本薬剤師会の橋場常務理事から「日本薬剤師会の課題と要望」として、国民の命を守るための薬局の経営基盤の強化、医薬品・薬剤師サービスの提供体制の強化、薬局機能強化のための薬局DX推進などについて要望が説明された。

その後、参加した議員から、多くの意見や課題解決に向けた理解を感じられる発言があり、薬局・薬剤師を取り巻く課題や今後の対応等について、活発な意見交換が行われた。



風力計



日本薬剤師連盟
副幹事長 小屋敷 淳子

薬剤師が政治を忘れたら 政治から薬剤師が忘れられる

この度、日本薬剤師連盟副幹事長を拝命しました、小屋敷淳子と申します。

私の担当の一つに「ロビー活動」があります。「ロビー活動」とは、議員お一人お一人に対して、要望などを直接丁寧にお伝えする地道な活動です。

まずは就任のご挨拶を兼ねて、川田幹事長他担当役員と議員会館を回りました。

アポなし訪問でしたが、たまたま議員ご本人が事務所にいらっしやる際はお話しする時間をとっていただくことが多く、突然の訪問にも関わらず、薬剤師連盟と聞いてすぐに、医薬品流通問題、薬価改定など現在薬剤師・薬業界が抱える問題について具体的に挙げてくださったり、都道府県薬剤師連盟会長や役員のお名前がスッと出てくるなど、地元の薬剤師連盟と連携がしっかり取れていて、顔が見える関係ができていることがうかがえました。

現在、薬剤師国会議員は衆議院2名、参議院2名となり、現場の声を「薬剤師の言葉」で国政に届けていただく力が格段にパワーアップしました。都道府県薬剤師連盟の皆さまが地元選出の国会議員の方と引き続き連携をとっていただき、さらにはロビー活動を通じて多くの国会議員の方に薬剤師・薬業界の抱える問題に常に関心を持っていただくことで、薬剤師議員の国会での発言を後押ししてくれることを期待しております。

「薬剤師が政治を忘れたら政治から薬剤師が忘れられる」本田あきこ議員の言葉です。忘れられないようにしっかり活動してまいります。

ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度

薬剤師国会議員・首長・地方議員一覧



薬剤師国会議員

衆議院議員
自由民主党

とかしき なおみ

参議院議員
自由民主党

本田 顕子

参議院議員
自由民主党

神谷 政幸

衆議院議員
自由民主党

藤田 洋司

「薬剤師首長・地方議員意見交換会」開催

令和8年5月14日(木)東京大手町において、令和8年度薬剤師首長・地方議員意見交換会が、全国から33名の薬剤師首長・地方議員に参集いただき開催された。

澤井常任総務の司会のもと、岩月会長の挨拶の後、本田顕子参議院議員、神谷政幸参議院議員からの祝電が披露された。会場にはとかしきなおみ衆議院議員、藤田洋司衆議院議員が駆けつけられて、ご挨拶いただいた。執行部より「日本薬剤師連盟の現状報告」の後、首長・地方議員の皆様から日々の活動のご報告、現場の課題や取り組み事例、日本薬剤師連盟へのご意見やご要望をお話しいただいた。

会議終了後の意見交換会では、それぞれ活発に交流され大変有意義で貴重な機会となった。

島根県
●浜田市議会議員

川神 裕司

岡山県
●総社市議会議員

村木 理英

広島県
●安芸高田市議会議員

山根 温子

山口県
●周南市議会議員

小池 一正

鹿児島県
●鹿児島県議会議員

寶来 良治

鹿児島県
●鹿児島県議会議員

池畑 知行

福岡県
●福岡県議会議員

江頭 祥一

佐賀県
●唐津市長

峰 達郎

長崎県
●長崎県議会議員

宮本 法広

長崎県
●長崎市議会議員

澤勢 瑞城

長崎県
●諫早市議会議員

山口 正広

熊本県
●玉名市議会議員

北本 将幸

熊本県
●荒尾市議会議員

多田 隼 稜

香川県
●香川県議会議員

宮岡 陽子

大阪府
●大阪市議会議員

辻 淳子

大阪府
●大阪市議会議員

鈴木 理恵

大阪府
●大阪市議会議員

藤原 洋一

大阪府
●忠岡町議会議員

尾崎 孝子

滋賀県
●草津市議会議員

福田 茂雄

兵庫県
●福崎町議会議員

住谷 庸子

兵庫県
●尼崎市議会議員

山崎 藍子

奈良県
●田原本町議会議員

梅本 直子

奈良県
●奈良市議会議員

中川 康

和歌山県
●高野町長

平野 嘉也

北海道
●赤平市議会議員

北市 勲

北海道
●網走市議会議員

永本 浩子

北海道
●滝川市議会議員

荒木 文一

北海道
●松前町議会議員

齋木 良太

宮城県
●大河原町長

齋 清志

山形県
●山形市議会議員

齊藤 栄治

秋田県
●八郎潟町長

佐藤 友紀

栃木県
●栃木県議会議員

山口 恒夫

群馬県
●桐生市議会議員

小島 強

埼玉県
●春日部市議会議員

水書 祐美子

千葉県
●市原市議会議員

小沢 美佳

千葉県
●茂原市長

市原 淳

千葉県
●香取市議会議員

藤木 裕士

千葉県
●成田市議会議員

葛生 孝浩

神奈川県
●大井町議会議員

山崎 真弘

神奈川県
●川崎市議会議員

春 孝明

石川県
●金沢市議会議員

宇野 裕基

長野県
●上田市議会議員

飯島 伴典

岐阜県
●岐阜県議会議員

川上 哲也

岐阜県
●山県市議会議員

河合 雅俊

静岡県
●静岡市議会議員

木下 俊也

愛知県
●愛知県議会議員

稲本 和仁

愛知県
●高浜市議会議員

北川 広人

愛知県
●東海市議会議員

井上 正人

愛知県
●一宮市議会議員

中村 一仁

愛知県
●みよし市議会議員

寺本 弘子

愛知県
●半田市議会議員

神原 瑞輝

三重県
●三重県議会議員

松浦 慶子

学校薬剤師の処遇改善を訴え、報酬アップにつながった。全ての学校に必要な機器が揃うまでの年間予算を確保した

子ども、高齢者、障害のある方が安心して暮らせる地域づくりに取り組みたい

災害時に医薬品共有システムをどのように稼働させるかが課題である

学校環境の改善やクーリングシェルターについての提案により学校への冷凍庫設置等につながった

子育て世代の視点から、学校施設の暑さ対策、体育館空調、児童ホーム(学童保育)の拡充などについて提案している

健康長寿の町宣言を行い、高血圧ゼロプロジェクトを進めた結果、健康寿命の延伸につながった

今後も薬剤師国会議員4人体制を維持していく必要がある。来年の統一地方選挙、さらに次期参議院選挙に向け、連携して取り組んでいきたい

地方自治体が国に要望する際には、政治力のある国会議員との信頼関係が重要である

予防医学や食・サプリメントにも、薬剤師の職能発揮すべき

薬物依存や薬物相談において薬剤師の知識を活かすべき

地域医療の維持のため、大学病院との連携、病院薬剤師の処遇改善、奨学金返済支援などの医療従事者確保策で医療従事者の確保を！

市と薬剤師会が契約し、重複服薬の相談事業(後期高齢者対象)や保健師と薬剤師との同行訪問とともに医師へ情報提供(在宅患者対象)を実施している

クーリングシェルターを民間施設にも広げ、積極的な薬局の参加を！

健康長寿延伸のため「かかりつけ薬剤師」の活用を！

モバイルファーマシーの導入や離島における医療等の問題にも取り組みたい

マラソン大会において、薬剤師会・スポーツファーマシストによるアンチドーピング啓発ブースの設置を進めている

人口減少と高齢化が進む中、今後はコンパクトシティを目指す必要がある

本田あきこを育てる会

令和8年5月27日、「本田あきこを育てる会」がルポール麹町にて開催された。参議院議員としてほぼ7年を迎え、議員生活8年目のスタートに向けて、多くの支援者から激励を受け、今後の活動に弾みをつける場となった。

本田議員は、自身のアイデンティティである「参議院議員として」「女性として」「熊本県民として」「薬剤師として」の4つの視点から、基礎研究から臨床に至る革新的新薬、先端技術、後発医薬品(ジェネリック)に至るまで、健康を支える医薬品や健康機器を全国津々浦々へ確実に届ける体制の整備などについて決意を述べた。

会場には多数の支援者が集まり、熱気のある盛大な会となった。



日本薬剤師連盟役員一覧

(任期:令和8年4月1日~令和10年3月31日)

令和8年7月10日現在

役職	氏名	所属
会長	岩月 進	愛 知
幹事長	川田 哲	神奈川
副会長	大澤 泰輔	兵 庫
副会長	原口 亨	福 岡
副会長	丹羽 松弘	愛 知
副会長	加茂 雅行	宮 城
副幹事長	浜田 嘉則	高 知
副幹事長	小屋敷淳子	山 口
常任総務	澤井 康行	静 岡
常任総務	千葉 恵子	青 森
常任総務	福森 一真	宮 崎
常任総務	角田 俊人	北海道
常任総務	小黒佳代子	群 馬
常任総務	吉岡 加織	東 京
常任総務	山内 大輔	埼 玉

役職	氏名	所属
総務	今井 章人	茨 城
総務	和泉啓司郎	病 薬
総務	田城 涼子	福 岡
総務	竹本 貴明	広 島
総務	熊倉 明子	女 薬
総務	本田多嘉子	大 阪
総務	中森 慶滋	石 川
総務	藤本 高弘	兵 庫
総務	亀山 達也	佐 賀
総務	東洋 輝武	北海道
総務	土屋あゆみ	東 京
総務	日高 玲於	東 京
監事	村松 章伊	愛 知
監事	内野 悟	鹿児島
監事	内藤 貴夫	山 梨



オレンジ日記

参議院議員・薬剤師 本田顕子



動画配信 進展を目指して

終盤国会にあたり緊張感漂う中ですが、元気に頑張っております。

5月27日に「本田あきこを育てる会」を開催しました。発起人代表の岩月進会長をはじめ日本薬剤師連盟役員の皆様と全国の都道府県および各地区の会員の皆様にご参集賜り、国会議員として八年目に向けて弾みをつけていただきました。議員として初めてのパーティーを開催できましたことに心から御礼申し上げます。

さて、6月末に2本のショート動画を配信しました。何れも幅広い方への普及啓発を意図したものですので、是非ご覧のうえ広めていただけると幸いです。

①「あなたの人生を守るために 薬物乱用は、ダメ。ゼッタイ」

<https://x.com/89314honda/status/2070431117807853854?s=46>

6月26日は国際麻薬乱用撲滅デー。世界が一つになって薬物乱用の撲滅に取り組んでいます。



②「病気の治療が必要な人に必要な薬を届けるために、そして、あなた自身の健康のためにも身体のためにも、糖尿病治療薬の目的外使用、適用外使用はやめましょう。」

<https://x.com/89314honda/status/2070633784303821295>

2型糖尿病治療薬について、6月16日、上野賢一郎厚生労働大臣は「臨床試験ではダイエットなどの効果は証明されておらず、本来の目的以外で使用した場合、思わぬ健康被害が生じる可能性があります。」として、医療機関・薬局および製造販売する企業に対して適正使用の徹底を求めました。



政幸だより



参議院議員・薬剤師 神谷政幸



世界保健総会に出席して

厚生労働大臣政務官として本年5月下旬にスイス・ジュネーブで開催された世界保健機関(WHO)の世界保健総会に参加してまいりました。

日本政府を代表しての代表演説では、WHO改革への日本政府としての考えや、世界各国のユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)達成に向けた貢献への決意などを話してきました。テドロス・アダノムWHO事務局長とのバイ会談においては、さらに踏み込んだ意見交換をすることができました。他にも参加各国からの政府要人とのバイ会談や、厚生労働省主催UHCサイドイベント、製薬協・日本政府代表部主催サイドイベントなど多数の行事に参加しご挨拶をさせていただきました。また、WHO本部AMR部門、ストップ結核パートナーシップなどでご活躍されている邦人職員の皆様と厚生労働省団での意見交換などでも多い時間を過ごしました。

前述のUHCは各国すべての人々が必要な保健医療サービスを、経済的な困難を負うことなく受けられる状態をいいます。世界各国では社会保障制度の状況も様々であり、UHCの実践には財政面の均衡を確保することが重要となります。今回の出張では、あらためて国際保健を取り巻く厳しい状況の中でも、いかに多くの日本人関係者が世界でその向上のために取り組んでいるかを再確認することが出来ました。

日本は国民皆保険や高額療養費制度などによりUHCを達成しています。参議院議員・薬剤師としても、このような優れた社会保障制度を維持できるように日本薬剤師連盟会員の皆様と共に取り組んで参りたいと考えております。



編集後記

薬剤師の存在価値とは

今朝は車の中でHIMARRI(吉村妃鞠が演奏する「Romance Op.23」)をSpotifyで聴いていた。ハーモニクスを駆使した彼女が弾く高音。あまりにも透明でどこか懐かしい。「なんて、なんて美しいのだろう。」HIMARRIはすでに世界最高峰のヴァイオリニストの一人であり、近い将来「史上最高」と呼ばれてもまったく不思議ではない。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする様々な最高峰のオーケストラと共演しているHIMARRIは現在14歳。彼女の演奏から僕は人間の中に、まだこんな未来が眠っていたのかという希望を感じる。

世の中はDX化の号令のもとAIが台頭し様々な業務がAIに置き換わり、デジタル技術も精密になりどんどん加速してきている。我々はテクノロジーの発達によりあらゆるものの原理を解説し理解し、理想を実現できる世界に近づいている。しかしHIMARRIの演奏は現在のAIには決して再現できない。

そして僕は薬剤師という職能の中にも、まだ誰も見たことのない新しい可能性が眠っていると思うのだ。AIが多くの業務を担う時代だからこそ、薬剤師には知識を伝えるだけでなく、不安に寄り添い、患者さんの未来に希望を届ける専門職としての役割が、これまで以上に求められている。同じ説明でも、患者さんの心に届くかどうかは微妙に違う。その違いは、言葉の温度や、間の取り方、そしてその人の人間性によって生まれる。それは科学だけでは説明しきれない。しかし確かに人の心に届き、結果を変える力がある。薬剤師の存在価値はまさにそこにあるのだ。

広報委員

原口 亨、小屋敷淳子
澤井 康行、千葉 恵子
和泉啓司郎、熊倉 明子
中森 慶滋